



議会運営委員会  
視察研修報告

【視察日】

平成30年1月24日～25日

【視察先】

○神奈川県寒川町議会  
○埼玉県寄居町議会

【視察目的】

現在、本村議会で積極的に推し進めている「議会改革」における、会議等でのペーパーレス化をさらに推進するための「タブレット端末の活用方法」また、「開かれた議会」のための情報発信の方法・取り組みについて先進地を視察する。

【視察内容】

1日目は寒川町議会のタブレット端末の活用方法についてである。

本村でもタブレット端末を導入し、本会議などのペーパーレス化を実施しているが、さらなる推進に向け寒川町議



寒川町役場にて研修

会の取り組みについて視察してきた。

寒川町議会は、平成26年1月に議会関連資料のペーパーレス化に向け調査研究を開始し、その後、タブレット端末、文書共有システム業者のプレゼンの実施、執行機関との調整、タブレット操作研修の実施、定例会での試行などのプロセスを経て、平成27年第1回定例会から紙との併用で運用を開始し、同年第4回定例会からは、完全ペーパーレス化を実現している。

寒川町議会もタブレット端末機器については、本村と同様に機器の信頼性及びセキュリティなどの観点からiPadを導入している。ただ、本村の買取りとは異なりリース契約にて導入している。その他、導入しているシステムについてやタブレット端末の活用状況など丁寧にご説明いただいた。

2日目は、埼玉県寄居町議会の開かれた議会への取り組みについて視察した。

寄居町議会は、広報広聴活動への取り組みとして、議会だよりの作成に力をいれている。読まれる議会だよりを作成するためのポイントとして、読み手（町民）の側に立ったわかりやすい広報、見出し、写真を見ればわかる広報、町民参加の広報と大きく3つのポイントを上げていた。特に感心したのが3つめの住民参加である。寄居町議会の議会だよりを拝見すると本当にた

くさんの町民の声写真と共に掲載され、これだけ身近な町民の方々が登場する紙面であれば、さぞかし寄居町の皆さんは議会だよりの発行を楽しみに待っているのだろうと推測できる。



寄居町議会議場にて

その他にも開かれた議会への取り組みについて、丁寧に説明をいただいた。

両町ともすばらしい取り組みをされており、本村発展のための参考にしたいと考えている。